

地元市町からの意見・要望

	伊根町	京丹後市
<p>太鼓山風力発電所は、地元の地域振興、観光振興のためにどのような役割を果たしてきたか</p>	<p>太鼓山風力発電所は環境にやさしいエネルギー、自然エネルギーとして意義あるもので、環境学習の場として今日まで多くの住民や各種視察団体に理解されてきた施設である。 また、伊根町の筒川地域にとって、観光資源として位置付けられており、施設内での地元産品の販売などの取り組みがされてきた。</p>	<p>太鼓山風力発電所については、本市の市勢要覧及び観光パンフレット等に掲載し、環境面でのPRのみならず観光資源として活用させていただいています。 風力発電所に隣接する森林公園スライス村(風のがっこう京都含む)は、風車をロコモークとしてパンフや看板などでシンポル的に使用させていただいています。風のがっこう京都では、環境学習に関するプログラムを実施しており、風力発電の研修において、風力発電所の見学を行っており、中心的な学習素材として活用させていただいています。</p>
<p>平成18年度の包括外部監査では事業譲渡も視野に入れて検討すべきとされている。 仮に事業譲渡する場合は、地元として留意すべき点はあるか</p>	<p>社会的貢献度の高い電気関係業者に譲渡されることを切に望む。</p>	<p>また、風力発電所の見学者は、スライス村内の飲食店(山の家食堂、風のがっこう京都のレストラン)や碓高原ステークハウス、地元野間の飲食店などを利用させていただいており、地域振興にシンポル的に寄与しています。 さらに、京丹後市エコエネルギーセンター(バイオガス発電施設)などと組み合わせ、地球温暖化防止等の環境学習に市内外の市民に活用されています。 このように風力発電所は、多くの見学者による地元での消費など経済効果をもたらしています。</p>
<p>風力発電事業は現在でも環境施策としての効果を上げているが、更にその効果を最大限活かすために、地元との連携についてのどのような事が考えられるか</p>	<p>環境学習の場として、継続していくことが大きな効果に結びつくものであると考えている。 本町としてこれらの受け皿として、各種団体の視察や学校の環境学習の場に出向き対応を行っている。 また、施設の受託者である本町は、地域の方々に依頼し、施設の善良な管理に努めているところである。</p>	<p>スライス村や京丹後市エコエネルギーセンター、琴引浜、山陰海岸ジオパーク等の市内の環境学習施設や自然環境とを組み合わせたエコツアーの実施やツアーガイドブックの作成を進めることとしています。その際は、風力発電に関する専門の説明員を置いていただくことで、効果が上がると考えられます。</p>
<p>その他</p>	<p>筒川地区の方々においても、丹後半島や筒川地域のシンポルであり、山頂から見下ろす風景と山と風力発電施設の景観など大変大切な財産となっている。 評価委員会が出された厳しい中間報告であるが、結果として、4号機を撤去し、5機の稼働となったも、風力発電施設の継続運転を期待するとの意見が寄せられている。 このように本町・地域の意見を尊重しつつ経営上許せる範囲内で継続稼働して欲しいと考えている。 しかしながらこのことに伴って、自治体に対して財政負担を強いるようなことがないようお願いしたい。</p>	<p>太鼓山風力発電所をシンポル的に活用しているスライス村については、風力発電所の存在は大きな意義を持つものです。さらに、環境循環都市の実現を目指す本市にとって、太鼓山風力発電所は隣接の伊根町域に設置されているものの、本市のスライス村(風のがっこう京都)との一体的利用等により、自然エネルギーの重要性を学ぶことができる貴重な施設です。 今後とも府において継続的な運営を強くお願いいたします。</p>